

3-8 . こども保育科 教育課程

①教育目標

人間形成の基礎を培う重要な時期である乳幼児期。この重要な時期に関わる“保育者”は、子どもたちの成長にも大きな影響を及ぼします。子どもたちが、どのような出会いをし、どのような経験をするかにより、将来も大きく変わります。無限の可能性を秘めた子ども一人一人の個性を活かし寄り添い、次世代を担う子どもを育成する保育が求められています。

また、地域の問題として、「待機児童問題」や保育所不足から働くことを諦めるお母さんたちの“隠れ待機児童問題”など、保育士・幼稚園教諭の人材需要ニーズは高まっています。

本科では、保育のプロとしての技術・能力・視野と感性を養い、自分で考え行動できる保育者を育成していきます。その論理的な学習を通して習得した知識を生かし、実際の保育現場での実習に臨みます。幼稚園での教育実習、保育所や児童養護施設、障害児施設などでの保育実習など、豊富な実習や見学を体験します。その実習プログラムを通して、豊かな人間性や専門性を高め、プロの保育者となるための技術や能力、自覚や責任感を身につけます。

また、学友・子ども・同僚・保護者など、様々な人を「理解」し、それぞれに「寄り添う」そんなホスピタリティ（おもてなしの心）を大切にする学生を育成します。その理論と実践による学習により、広い視野を養うとともに、協調性や主体性、コミュニケーション力を高めます。

さらに、地域や社会に貢献できる能力を育成します。

卒業時には、卒業証書と共に幼稚園教諭二種免許状、保育士、社会福祉主事（任用）などの資格を手にすることが出来ます。

【1年次】

1年次は、保育・教育の基礎を幅広く学習する上で必要となる知識や技術習得を中心に行います。

2月には2年次に保育実習を実施する保育園に協力を得て、プレ実習を実施し保育現場への理解を深めます。

【2年次】

2年次は、1年次で培った技術を基に、より実践的な学習を行います。保育実習・教育実習を経験し、資格取得への歩みを進めます。

【3年次】

3年次は、最終学年として施設実習と保育実習・教育実習の責任実習が行われます。保育士・幼稚園教諭二種取得に向けて最終段階となります。

また、現場で使える実践的学びを意識し、現実的な技術の獲得や教材の作成を行います。近隣の子どもたちとその保護者向けのイベントを企画・運営し、学生の実践力を養います。イベント内容としては、おはなし会・クリスマス会・むかしあそび講座など子どもたちが参加できる行事となります。

さらに、3年間の総まとめとして卒業研究および発表会が行われます。

②取得目標資格

資格名・級	主催	受験時期
【1年次】		
日本語ワープロ検定 2級・3級	日本情報処理検定協会	7月
【2年次】		
Microsoft Office Specialist word	Microsoft	12月
【3年次】		
Microsoft Office Specialist Excel	Microsoft	10月
保育士		
幼稚園教諭二種免許		
社会福祉主事(任用)		
認定絵本土		

③目標とする職業

保育士、幼稚園教諭、保育教諭、福祉施設職員、託児施設職員 他

④イベント・行事予定

実施時期	行事内容	場所
【全学年共通】		
7月	保育科遠足(春)	
11月	保育科遠足(秋)	
年間	保育キャリア講座 全5回 保育特別講座 全5回	
【1年次】		
5月	絵本講座	
9月	園見学	近隣協力園
2月	保育プレ実習・報告会	各実習園
【2年次】		
6月	保育実習・実習報告会	各実習園
10月	教育実習・実習報告会	各実習園
【3年次】		
5月	施設実習・実習報告会	各実習園
6月	教育実習・実習報告会	各実習園
9月	救命救急講座	本校ホール
10月	保育実習・実習報告会	各実習園
通年	認定絵本土養成講座	

※記載されている行事の中止や変更、予定外の行事を追加で実施する場合があります。

教育課程及び授業日時数

こども保育科

課 程 学 科 目		専 門 課 程			単 位 表 示			
		こ ども 保 育 科	第1学年	第2学年	第3学年	第1学年	第2学年	第3学年
一 般 科 目	1	コミュニケーション活動Ⅰ	60			2		
	2	コミュニケーション活動Ⅱ		60			2	
	3	コミュニケーション活動Ⅲ			60			2
	4	キャリアア講座		30			1	
	5	ビジネスマナー			30			1
	6	情報リテラシーⅠ	30			1		
	7	情報リテラシーⅡ		30			1	
	8	情報リテラシーⅢ			60			2
	9	地域連携	30			2		
	10	文章表現	30			2		
	11	公務員試験対策講座Ⅰ		60			2	
	12	公務員試験対策講座Ⅱ			30			1
	13	英会話Ⅰ	15			1		
	14	健康科学	15			1		
	15	情報処理入門Ⅰ	15			1		
	16	日本国憲法	30			2		
専 門 科 目	17	幼児の心理学	15			1		
	18	教育原理	30			2		
	19	造形表現(指導法)	15			1		
	20	幼児と言葉	15			1		
	21	幼児と人間関係	15			1		
	22	幼児と環境	15			1		
	23	社会福祉	30			2		
	24	子ども家庭福祉		30			2	
	25	保育原理		30			2	
	26	社会的養護Ⅰ	30			2		
	27	子ども家庭支援論		30			2	
	28	幼児への特別な支援		15			1	
	29	子どもの食と栄養		15			1	
	30	子どもの保健		30			2	
	31	保育の心理学		30			2	
	32	子どもの家庭支援の心理学		30			2	
	33	教育課程総論	30			2		
	34	教育方法論	30			2		
	35	教育概論	30			2		
	36	教育相談		30			2	
	37	保育・教職実践演習			15			1
	38	児童文化	15			1		
	39	乳児保育Ⅰ		30			2	
	40	音楽Ⅰ	90			3		
	41	音楽Ⅱ		120			4	
	42	音楽Ⅲ			90			3
	43	実習指導Ⅰ	60			2		
	44	実習指導Ⅱ		60			2	
	45	実習指導Ⅲ			60			2
	46	リトミック			30			1
	47	制作演習Ⅰ	30			1		
	48	制作演習Ⅱ		30			1	
	49	制作演習Ⅲ			60			2
	50	絵本教育Ⅰ		30			1	
	51	絵本教育Ⅱ			60			2
	52	自然教育			30			1
	53	交流ゼミⅠ	30			1		
54	交流ゼミⅡ		30			1		
55	交流ゼミⅢ			30			1	
56	運動遊び			30			1	
57	卒業研究			60			2	
小計		705	720	645	37	33	22	
スクーリング科目		290	310	270	14	14	10	
年間履修時間数		995	1,030	915				
年間授業日数		180	180	180				

スクーリング科目については、別表(1-3)に基づき、理事長が認めた提携先に在籍して履修するものとし、本校の卒業に必要な単位に換算するものとする。

スクーリング科目表

こども保育科

	課 学 科 目	程 科 目	専 門 課 程			単 位 表 示		
			こ ども 保 育 科			第1学年	第2学年	第3学年
			第1学年	第2学年	第3学年			
専 門 科 目	1	英 会 話 I S	20			1		
	2	生 涯 ス ポ ー ツ S	30			1		
	3	情 報 処 理 入 門 I S	20			1		
	4	幼 児 と 音 楽 表 現 S	20			1		
	5	音 楽 表 現 技 術 S		20			1	
	6	幼 児 と 造 形 表 現 S		20			1	
	7	教 育 心 理 学 S	20			1		
	8	健 康 (指 導 法) S	20			1		
	9	人 間 関 係 (指 導 法) S	20			1		
	10	幼 児 と 健 康 S		20			1	
	11	造 形 表 現 (指 導 法) S	20			1		
	12	音 楽 表 現 (指 導 法) S	20			1		
	13	環 境 (指 導 法) S	20			1		
	14	言 葉 (指 導 法) S	20			1		
	15	社 会 的 養 護 II S		20			1	
	16	障 が い 児 保 育 S		20			1	
	17	子 ど も の 食 と 栄 養 S		20			1	
	18	子 育 て 支 援 S		20			1	
	19	劇 あ そ び (指 導 法) S	20			1		
	20	教 育 実 習 事 前 事 後 指 導 S		20			1	
	21	保 育 内 容 総 論 S	20			1		
	22	教 育 実 習 ① S		30			1	
	23	教 育 実 習 ② S			90			3
	24	保 育 ・ 教 職 実 践 演 習 S			20			1
	25	児 童 文 化 S	20			1		
	26	乳 児 保 育 II S		20			1	
	27	子 ど も の 健 康 と 安 全 S			20			1
	28	保 育 実 習 I (保 育 所) S		60			2	
	29	保 育 実 習 I (施 設) S			60			2
	30	保 育 実 習 事 前 事 後 指 導 I (保 育 所) S		20			1	
	31	保 育 実 習 事 前 事 後 指 導 I (施 設) S		20			1	
	32	保 育 実 習 II S			60			2
	33	保 育 実 習 事 前 事 後 指 導 II S			20			1
		小 計	290	310	270	14	14	10

授業科目等の概要

(教育・社会福祉専門課程 こども保育科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			コミュニケーション 活動Ⅰ	入学時のオリエンテーション、遠足、保育キャリア講座など、学校環境への適応と保育分野への理解を深める。	1 通	60	2		○		○	○	○		
○			コミュニケーション 活動Ⅱ	遠足や各実習報告会を行い、より実践的なコミュニケーションスキルを高める。	2 通	60	2		○		○	○	○		
○			コミュニケーション 活動Ⅲ	より実践的な保育特別講座を実施し、社会人になることを意識した技術の習得をする。	3 通	60	2		○		○	○	○		
○			キャリア講座	社会人としての知識とマナーを身につけ、実習やボランティアなどで役立てる。	2 通	30	1		○		○			○	
○			ビジネスマナー	身につけた知識・技術をもとに、ビジネスマナー実務検定試験の取得に繋げる。	3 通	30	1		○		○		○		
○			情報リテラシーⅠ	パソコンの導入から操作方法と利用技術を実践的に学ぶ。	1 前	30	1	△	○		○		○		
○			情報リテラシーⅡ	パソコンの実践的な利用技術を学び、資格取得を目指す。	2 前	30	1	△	○		○		○		
○			情報リテラシーⅢ	パソコンが実社会でどのように利用されているかを学び、就職後も役立つ活用方法を学ぶ。	3 通	60	2	△	○		○		○		
○			地域連携	近隣の施設・子育て支援センター・イベントなどでの見学・ボランティアを実施し、その学びを報告会として学生同士で情報共有する。	1 通	30	2	△	○		○		○		
○			文章表現	保育現場に必要な文章力を身に付ける。例えば、保護者への連絡帳・園だより・保育記録・研修レポートなど。また、単位取得に必要なレポートの書き方を学ぶ。	1 後	30	2	○			○		○		
○			公務員試験対策 講座Ⅰ	公務員試験の概要を調査し、自分に合った進路選びに役立てる。SPI試験問題を中心に対策をする。	2 通	60	2	○			○		○		

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			公務員試験対策講座Ⅱ	受験のための資料作成・対策問題を実施する。	3前	30	1	○			○	○			
○			英会話Ⅰ	子どもや保護者とコミュニケーションがとれるよう基本的な英会話や、表現の仕方を学ぶ。また、基本的な英文法を理解する。	1後	15	1	○	△		○			○	
○			健康科学	健康や体力に関する知識や関心を高め、合理的な運動実践が習慣化するための方策を考える。	1後	15	1	○			○			○	
○			情報処理入門Ⅰ	コンピュータの歴史やハードウェアの仕組みについて学ぶ。また、保育分野でのICTの活用について学ぶ。	1前	15	1	○	△		○			○	
○			日本国憲法	日本国憲法の枠組みを体系的に理解しながら、憲法が求めている理念とは何か、現代社会との間にどのようなギャップがあるかを学習する。	1前	30	2	○			○			○	
○			幼児の心理学	保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点について理解する。子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子どもへの理解を深める。	1後	15	1	○			○			○	
○			教育原理	教育の本質・意義・機能に関する理論や知識を習得し、現代社会における教育の諸課題について考察する力を身に付ける。また、幼児期の教育の基本原理とその特徴を理解する。	1後	30	2	○			○			○	
○			造形表現(指導法)	幼児の造形(絵画や粘土・工作)表現様式を発達段階を追って学ぶ。自らも作成しながら、指導法を身につける。	1前	15	1	○	△		○			○	
○			幼児と言葉	人間にとっての言葉(言語)の役割・言語獲得の理論を理解する。子どもの言葉を育む適切な環境について理解し、保育者としての子どもとの関わり方を身につけ実践する。	1後	15	1	○			○			○	
○			幼児と人間関係	領域「人間関係」に関する保育・教育内容及び指導に関する知識・技術を習得する。こどもの発達を領域「人間関係」の観点で捉え、子どもの理解を深める。	1前	15	1	○			○			○	
○			幼児と環境	幼児教育の基本及び領域「環境」の狙いと内容を理解する。「環境とかかわる力」の発達について理解する。自然環境や社会環境などの具体的生活体験を重視した保育、特に子どもの自然とかかわりを深める保育を実践的に指導できるようにする。	1前	15	1	○			○			○	
○			社会福祉	社会福祉に関する基本的知識を見つけるとともに、我が国の社会保障における仕組みや特徴を理解する。	1前	30	2	○			○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			子ども家庭福祉	現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷について理解する。こどもの人権擁護について理解する。	2前	30	2	○			○			○	
○			保育原理	保育の意義、保育所保育指針における保育の基本、保育の内容と保育の方法の基本、保育の思想と変遷について、基本的な内容を理解する。また、保育の現状と課題について考察する。	2前	30	2	○			○				○
○			社会的養護 I	現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷について理解する。社会的養護の制度や実施体系等について理解する。	1前	30	2	○			○				○
○			子ども家庭支援論	保育の専門性を活かした子ども家庭福祉の意義と基本について理解し、子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について学ぶ。	2後	30	2	○			○				○
○			幼児への特別な支援	特別支援教育に関する制度の仕組みや各障害のある幼児の発達や特性、保育者の支援方法について理解し、個別の指導計画及び教育支援計画の基礎について学ぶ。	2後	15	1	○			○				○
○			子どもの食と栄養	子どもの発達・特性、栄養に関する基本的な知識を踏まえ、乳幼児期における心身の発達段階に応じた栄養法、食生活、集団給食（保育所給食）、食育の重要性を理解する。	2後	15	1	○			○				○
○			子どもの保健	子どもの保健の意義を理解し、子どもを取り巻く最近の問題点及び今後の課題や子どもの心身の正常な発育及び、発達段階の各期の特徴を学ぶ。	2前	30	2	○			○				○
○			保育の心理学	保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点について理解する。乳児期の子どもの学びの過程や特性について基礎的な知識を習得し、保育における人との相互的関わりや体験、環境の意義を理解する。	2後	30	2	○			○				○
○			子どもの家庭支援の心理学	心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係について発達の観点から理解し、子どもとその過程を包括的にとらえる視点を習得する。	2後	30	2	○			○				○
○			教育課程総論	幼稚園における教育課程、保育所における保育課程の編成と指導計画の作成の基本的な考え方・意義を理解し、計画、実践、省察・評価、改善の過程について学び実践できるようにする。	1後	30	2	○			○			○	
○			教育方法論	教育の方法に関する理論的知識を習得し、乳幼児期の教育の方法に関する基本原理を理解する。また、実践力の向上を目指す。	1前	30	2	○			○				○
○			教職概論	教職・保育職の意義やその役割、職務内容などの基本的な理解を通して、現在の保育者に求められる資質や保育者として社会の期待に応える為にどのような努力をすれば良いのかを考えていく。	1前	30	2	○			○				○

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			教育相談	現代社会で起きている様々な子育てに関する問題を知り、子どもの心の成長やつづき、保護者への支援に関する理解を深め、子どもや家庭への支援の基本を学ぶ。	2後	30	2	○			○			○		
○			保育・教職実践演習	保育士・幼稚園教諭として必要なコミュニケーション能力を習得し保育者としての使命感と職務内容について理解する。	3前	15	1	△	○		○		○			
○			児童文化	保育の質を向上させるために必要な児童文化財や遊びの実践を通して、専門的な知識を得る。また、保育者になってから適切な児童文化財を子どもに与え、実践的な指導ができることを目標とする。	1前	15	1	○			○		○			
○			乳児保育 I	乳児の成長発達や発達課題、保育内容、保育実践の方法を学習し、知識と技能を身に付ける。また、保護者を支援する保育者としての役割や乳児保育の必要性について考える。	2前	30	2	○			○			○		
○			音楽 I	保育者として、重要な音楽表現をするために音楽鑑賞・歌・楽器演奏・リズム遊びを身に付ける。また、楽譜読みに必要な音楽理論の基礎も学ぶ。	1通	90	3	△	○		○				○	
○			音楽 II	音楽 I を基礎に、器楽の演奏技術を取得し、童謡の弾き歌いが出来る技術を身に付ける。また、童謡の伴奏に必要なコード進行を理解する。	2通	120	4	△	○		○				○	
○			音楽 III	クラス活動の中に音楽が取り入れられるよう、子どもたちの前での童謡の弾き歌いが出来る技術を身に付ける。より多くの季節の歌・童謡・わらべ歌を知り、教育活動に活かせる技術を身に付ける。	3通	90	3	△	○		○				○	
○			実習指導 I	保育士及び幼稚園教諭資格取得に向けて、実習の仕組みを理解する。また幼稚園・保育所の機能や内容・目的を理解し、実習やその手続きがスムーズに出来るようにする。	1通	60	2	△	○		○		○			
○			実習指導 II	2年次で行われる 保育実習・教育実習に向けて、日誌の書き方、指導計画の方法などを学ぶ。	2通	60	2	△	○		○		○			
○			実習指導 III	3年次で行われる 保育実習・施設実習・教育実習に向けて、理解を深める。また、責任実習などに向けた準備を行う。	3通	60	2	△	○		○		○			
○			リトミック	音楽を通して、身体的・感覚的・知的に優れた子どもたちの育成を目指し、その指導が出来るような技術を身につける。	3通	30	1	△	○		○				○	
○			制作演習 I	保育者として、必要な制作の知識を深める。具体的には、材料の特性・道具の正しい使い方・手入れの仕方などを含め、物の理解をする。	1通	30	1	△	○		○		○			

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			制作演習Ⅱ	部分実習で使える教材の作成。具体的には、ペーパーアート・シアターなどを制作し活用法を学ぶ。また、実際に子どもの前で使ってみて、反省などをクラスで共有する。	2通	30	1	△	○		○	○			
○			制作演習Ⅲ	責任実習に向けて、必要な教材や保育園・幼稚園でよく使う壁面飾り等を調査し制作する。	3通	60	2	△	○		○	○			
○			絵本教育Ⅰ	絵本がいかにして誕生し、これまで絵本と人間がいかに関わってきたのかについて学ぶ。沢山の絵本に触れ、それぞれの絵本の特性について学び、絵本の選定が出来るようにする。	2通	30	1	△	○		○	○			
○			絵本教育Ⅱ	「なぜその絵本に魅力を感じるのか」「この絵本が子どもを引きつける要因とは何か」という点から絵本の持つ力を理解する力を養う。また、読み聞かせる上で必要となる配慮について考える。	3通	60	2	△	○		○	○	○		
○			自然教育	子どもの成長と自然の重要性について学ぶ。また、子ども達が園や身近な自然の中でどのように自然と関わり触れ合うことができるのか、保育者として自然や命の大切さをどのように伝えていくのか、実践を通して自身の考えを深めていく。	3通	30	1	△	○		○		○		
○			交流ゼミⅠ	特別講師によるセミナーを通じて、現在よく使われる教材や技術を学ぶ。また、積極的に関わり自己表現することで、保育者になることへのモチベーションを高める。	1通	30	1	△	○		○	○			○
○			交流ゼミⅡ	他学年と交流し、教えたり教えられるという中で知識を深める。また、自分から伝えることで自己理解を深める。	2通	30	1		○		○	○			
○			交流ゼミⅢ	近隣の子どもたちやその保護者と関わることで、コミュニケーションスキルを高める。	3通	30	1		○		○	○			
○			運動遊び	“遊び”から始まる日常の保育の展開や実践的指導力の向上を図り、さらに園内の行事プログラムの指導計画まで発展させる。また指導者の資質を理解し、実践力を身につける。	3通	30	1	△	○		○		○		
○			卒業研究	3年間の総括として、保育に関わることをテーマとし卒業研究を行い、論文にまとめプレゼンテーションを行う。	3通	60	2	△	○		○	○			
○			スクーリング科目	英会話S、生涯スポーツS、情報処理入門ⅠS、幼児と音楽表現S、教育心理学S、健康(指導法)S、人間関係(指導法)S、造形表現(指導法)S、音楽表現(指導法)S、環境(指導法)S、言葉(指導法)S、劇あそび(指導法)S、保育内容総論S、児童文化S	1通	290	14								
○			スクーリング科目	音楽表現技術(指導法)S、幼児と造形表現S、幼児と健康S、社会的養護ⅡS、障がい児保育S、子どもの食と栄養S、子育て支援S、教育実習事前事後指導S、教育実習①S、乳児保育ⅡS、保育実習Ⅰ(保育所)S、保育実習事前事後指導Ⅰ(保育所)S、保育実習事前事後指導Ⅰ(施設)S	2通	310	14								

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			スクーリング科目	教育実習②S、保育・教職実践演習S、子どもの健康と安全S、保育実習Ⅰ（施設）S、保育実習ⅡS、保育実習事前事後指導ⅡS	3通	270	10								
合計				90科目				2940単位時間（130単位）							